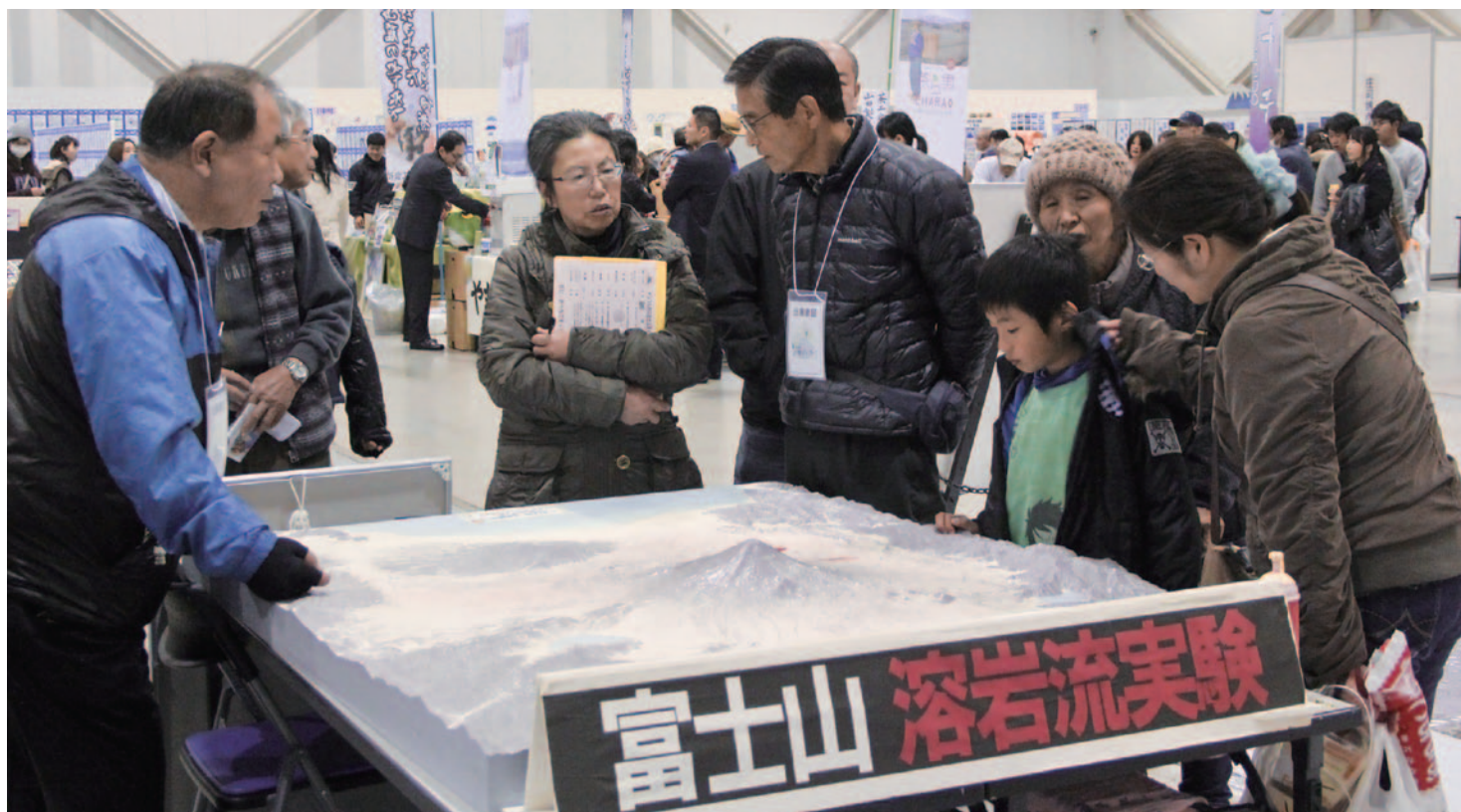


ふじあさみ

活火山富士山 / 溶岩流ってどこまで流れてくるの？

～なんでも富士山2015～



2月21日(土)・22日(日)、ふじさんめっせ（富士市産業交流展示場）において「なんでも富士山2015」が開催されました。この催しは、「富士山の日」記念イベントとして毎年ふじさんめっせにおいて開催されており、「富士山百景ゾーン」、「富士山の恵みゾーン」、「富士山の学びゾーン」にわかれて、富士山の美しさや恵み、富士のすばらしさを広く知ってもらうイベントです。富士砂防事務所では、学びゾーンにブースを構え、活火山富士山、大沢崩れなどについての説明、溶岩流実験を行いました。来場された多くの方に実験をとおりて活火山富士山を再認識してもらいました。

土石流ってなんだろう？

「富士宮市サイエンスワールド」

12月6日(土)、富士宮市民文化会館において「サイエンスワールド」が開催されました。この催しは、子どもたちに、実体験から学ぶことの楽しさを味わえる機会を提供し、科学に対する興味や関心を高めてもらおうと毎年開催されています。富士砂防事務所では「土石流ってなんだろう？」と題して土石流の模型実験を行いました。



参加した子どもたちは、砂防施設があると土石流が発生しても下流の町が守られることを体感しました。

砂防工事の最前線を支える若手技術者にインタビュー

富士山には八百八沢といわれるように多くの渓流があります。富士山にある渓流は、土砂の流出が活発な川となっています。川の下流部には人家、小学校などの公共施設、主要地方道があり、生命、財産を土石流から守るために砂防堰堤などの砂防施設を建設しています。現在、富士山にある風祭川でも砂防堰堤の工事を行っています。風祭川で砂防堰堤を建設している若手技術者2人に、昨年入省した高岡技官が飛び込みインタビューを行いました。



高岡技官



現場事務所でインタビュー 左から高岡技官、小池さん、山本さん



砂防堰堤工事位置図

高岡：こんにちは、調査課の高岡です。小池さん、山本さんお話を聞かせて下さい。建設業界に就職した理由とか、建設業の魅力について教えて頂けませんでしょうか。

小池：建設業に携わっていた父の影響でこの業界に入りました。ものを造る楽しさや現場ができあがっていく過程がとても楽しいです。

山本：大学で勉強し、建設業に魅力を感じました。自分が測量した通りにものができていくことに魅力を感じます。

高岡：苦勞していることはどんなことですか？

小池：仕事の調整はやはり難しいと思います。職人さんたちの作業が、手戻りの無いようにスムーズに作業ができるようにすることが大変です。

山本：人に指示を出したりする場面が多いため、言葉遣いや態度などには気を遣っています。自分の父親と仕事しているような感じですからね。

高岡：それでは最後に今後の目標を聞かせて下さい。

小池：無事故・無災害でこの現場を完成させることです。

山本：先輩に教えてもらうことなく1人でできるようになることです。



工事中の風祭第2砂防堰堤



風祭第1砂防堰堤工事
会 社：石井組
技術者：小池さん
年 齢：28歳
出身地：山梨県南部町
趣 味：車・バイク
休日の過ごし方：
子供(5歳と4歳の娘)
と遊んで過ごします。



風祭第2砂防堰堤工事
会 社：井出組
技術者：山本さん
年 齢：27歳
出身地：静岡県富士市
趣 味：スポーツ、特に
フットサル
休日の過ごし方：
フットサルの練習や試
合に出ています。

インタビューを終えて

当日、風祭第2砂防堰堤工事現場からきれいな富士山を見ることができました。普段立ち入ることのできない工事現場で、毎日現場代理人や職人の方々が工事を進めています。今回、お二人にお話を聞き、お二人とも自分の仕事に誇りを持っていらっしゃるということがわかりました。本誌読者の皆さんも現場見学会の際には、私たちと一緒に、働く人の熱気を感じてみませんか？

現場見学会を希望される方は富士砂防事務所までお問い合わせ下さい。

高岡



風祭第2砂防堰堤工事現場
(右から小池さん、山本さん、高岡技官)



安全確保へ意識高揚！ 工事安全協議会

1月15日(木)に富士砂防事務所では、『富士砂防事務所工事安全協議会』を開催しました。午前は、富士労働基準監督署、工事等の受注業者、事務所職員が参加し、工事現場での合同安全パトロールを実施しました。午後は、富士商工会議所において、富士労働基準監督署・富士警察署員による講話と佐野藤建設(株)、市川土木(株)の工事担当者による現場での安全対策の取組の発表がされました。協議会を通して、工事の安全対策や事故防止の取り組みの重要性を再確認し、安全確保への意識高揚がはかられました。



工事現場合同安全パトロール



工事安全協議会



災害対策関係功労者表彰

2月6日(金)に富士砂防事務所では、昨年7月の台風8号による長野県木曽郡南木曽町での土石流災害において、当事務所が派遣した緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)と共に、緊急調査に従事した中央コンサルタンツ株式会社(本社名古屋市)の功績に対し、事務所長より感謝状を授与しました。受賞を受け天野支店長は「今後も社会資本を支える機関として地域の皆さんの期待に応えていきたい」と決意を語られました。

※災害対策関係功労者表彰とは、地震、風水害等の災害発生又は発生の恐れがある場合に、それらの災害の予防、応急対策、応急復旧の顕著な功績を顕彰し、表彰するものです。



中央コンサルタンツ(株)名古屋支店長(左から2人目)、
富士砂防事務所長(同3人目)



第19回富士山への手紙・絵コンクール 表彰式



事務所長の表彰をうける
横山さん（新潟市）



小学校低学年の部
富士市立富士川第一小学校 1年
石野 結希 さん



小学校高学年の部
富士市立広見小学校 5年
中村 和史 さん



中学生の部
静岡双葉中学校 1年
佐野 来実 さん

絵の部 最優秀賞



幼児の部
リーチエル幼稚園（富士宮市） 6歳
上杉 隆太 さん



一般の部
静岡市
小林 豊 さん

手紙の部 最優秀賞

小学生低学年の部

富士宮市立大宮小学校 2年 河村 叶子 さん

富士山は男ですか。女ですか。わたしは、どっしりしたすがたがかっこいいので、男だと思います。お母さんは、ゆきのおけしゅうをしたやさしいお母さんだと言います。お父さんは、天気を教えてくれたり、台風から町をまもってくれるので、ちょうろうみたいだと言います。おじいちゃんとおばあちゃんは、神さまだと言います。こうして家ぞくで、大きなふじ山の話をしていて、楽しくてしあわせな気分になります。

選評：「わたし」「お母さん」「お父さん」「おじいちゃん」「おばあちゃん」のそれぞれに思う富士山のイメージがあざやかで、富士山についてこんな話ができる家庭のゆたかさを感じさせられる作品だった。自分はどう答えるだろう、と読み手にも楽しさを与えてくれる作品だ。

中学生の部

富士宮市立富士宮第二中学校 2年 深澤 功紀 さん

高校生・成人の部

新潟県新潟市 横山 美砂子 さん

小学生高学年の部

富士宮市立上野小学校 5年 高山 龍斗 さん

寒い冬のねむりから、目覚めたカエル達がいっせいに鳴き始める五月。ぼくの住む富士宮では、田植えが始まる。「カシャッ」という機械の音とともに、お父さんが上手に苗を植えていく。ぼくも手伝う。「フッ」と下を向くと、水田に写る富士山と目が合う。きれいなさかさ富士……今、ここでしか見れないぼくの、お気に入りの風景だ。ぼくは、この季節が大好きだ。富士山を背に、だんだんとみどり色のじゅうたんがしきつめられていく。お昼、こんどは、ぼくたちが、富士山を見つめながらワイワイと、ごはんを食べる。富士山と、塩むすびが、最高におしくて何とも言えないぜいたくさ。そして、空が少し高くなり、秋の香りがしたところ、たくさんに実ったお米のしゅうかくだ。富士山と、新米の塩むすび……今から、想像するだけで、「ゴクン」と、つばを飲みこむぼくがいる……

選評：田植えへの刻々の時のなかであられるいくつかの富士山の顔が見事に描かれていた。塩むすびと富士山の組み合わせは、すばらしかった。

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

TEL 0544-27-5387

担当／建設専門官 落合 または 調査課長 大森まで
インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>
E-mail fujisabo@cbr.mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9
TEL 0544-54-0236

■由比出張所

〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8
TEL 054-389-1202

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。

今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。